

# 農研速報

麦の生育状況(12月23日現在、龍ヶ崎市)

地域名	麦種(品種)	生育ステージ	対平年遅速	生育(作柄・品質)概況	備考
茨城県 (龍ヶ崎市)	11月14日播種 小麦 (さとのそら) 六条大麦 (カシマムギ) (カシマゴール) 二条大麦 (ミカモゴールデン) 裸麦 (キラリモチ)  11月20日播種 小麦 (さとのそら)	分けつ期 分けつ期 分けつ期 分けつ期 分けつ期 分けつ開始期	14日遅い 13日遅い 13日遅い 17日遅い 16日遅い 5日遅い	<p>龍ヶ崎市における、11月第3半旬～12月第4半旬の気象と麦類生育概況は、下記のとおりである。</p> <p><b>【気象】</b> 気温:平均気温は7.8°Cとかなり低かった(平年差-1.0°C、図1)。 降水量:平年比29%と少なかった(図2)。 日照時間:平年比105%とやや長かった(図3)。</p> <p><b>【生育】</b> 出芽期:11月14日播種は平年より2～4日遅かった。11月20日播種は1日遅かった(表1)。 苗立率:11月14日播種の小麦はかなり高く、六条大麦、二条大麦、裸麦は平年並であった。11月20日播種は平年並であった。(表1)。 生育速度:主稈葉数から見た生育ステージでは、11月14日播種は13～17日遅かった。また、11月20日播種は5日遅かった。 草丈:11月14日播種の小麦は平年並で、六条大麦はかなり短い～短く、二条大麦はやや短かった。裸麦はかなり短かった。11月20日播種は短かった。(表1)。 茎数:11月14日播種の小麦は少なく、六条大麦は少ない～やや少なく、二条大麦、裸麦は少なかった。11月20日播種は平年並であった(表1)。 葉色:11月14日播種の小麦は濃く、六条大麦は濃い～かなり濃く、二条大麦、裸麦ではかなり濃かった。11月20日播種は濃かった。(表1)。</p> <p>写真2、3に12月23日現在の所内麦類の生育状況を示した。</p> <p><b>【注釈】</b> 1) 対平年遅速は主稈葉数と播種後日数の関係から算出した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>降雨時は、ほ場の排水に努める。特に、出芽するまでは、湿害により、苗立数が不足しやすいため、明渠を施工し、排水に努める。</li> <li>分けつ促進及び耐寒性向上のため、麦踏みを行う。 麦踏みは、<b>3～4葉期</b>(写真1)頃以降で、土壤が乾いている時に10日以上の間隔で行う。</li> </ul>

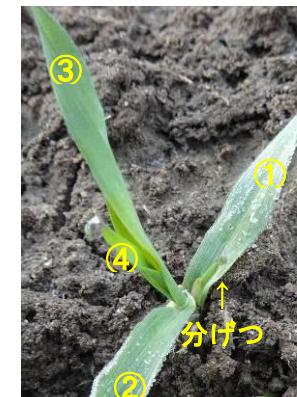


写真1 3～4葉期の大麦

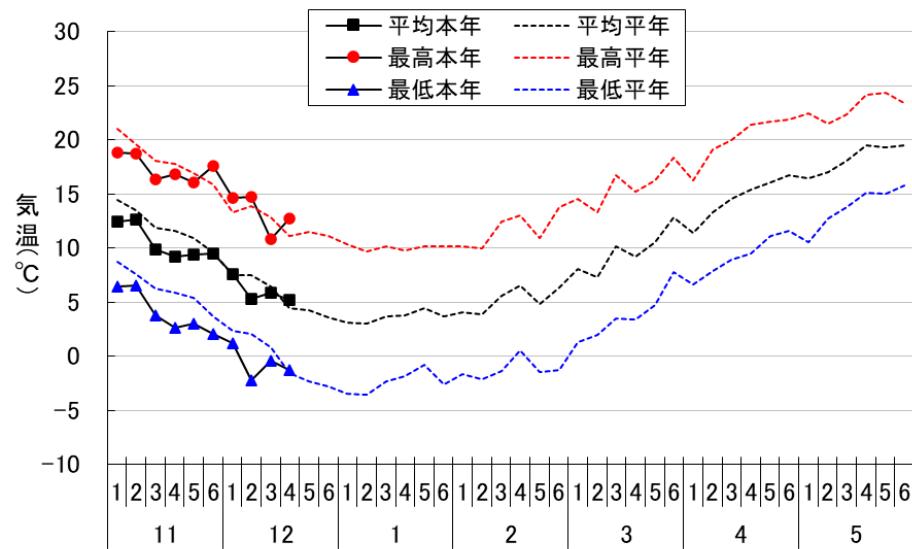


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移  
(月・半旬)

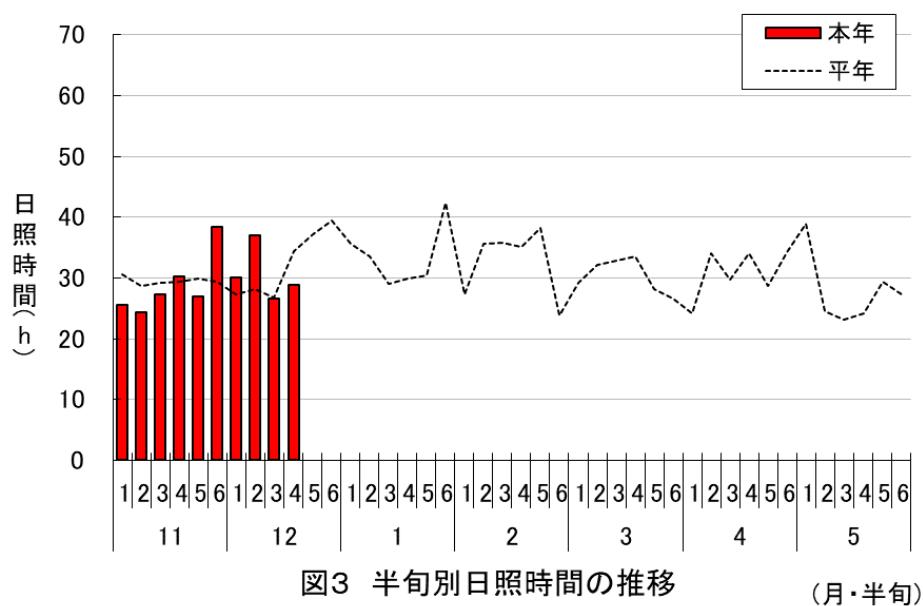


図3 半旬別日照時間の推移  
(月・半旬)

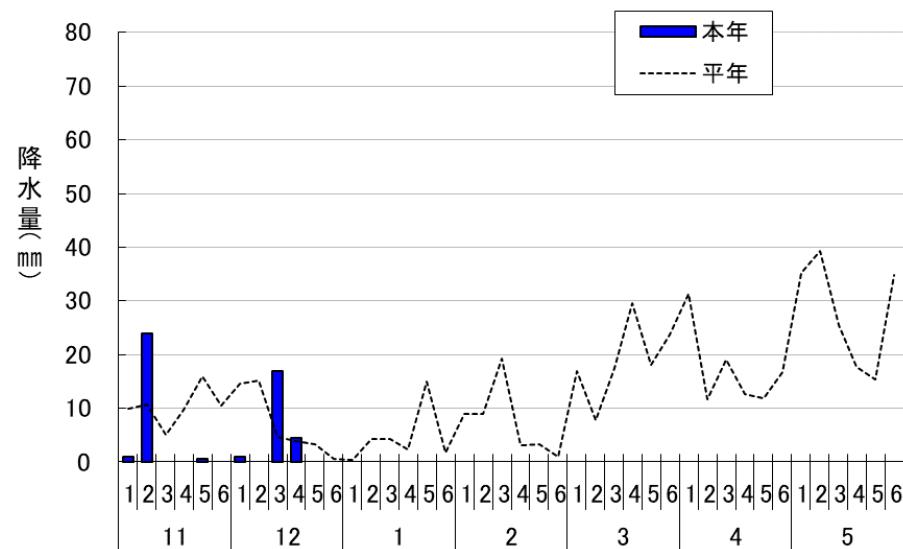


図2 半旬別降水量の推移  
(月・半旬)

表1 輪換畠における麦類の生育（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

2025年12月23日現在

播種期	麦種	品種名	出芽期			苗立率			主稈葉数			草丈			茎数			葉色			
			本年 (月・日)	平年値 (月・日)	平年差 (日)	本年 (%)	平年値 (%)	平年差 (%)	本年 (枚)	平年値 (枚)	平年差 (枚)	本年 (cm)	平年値 (cm)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	平年値 (本/m <sup>2</sup> )	平年比 (%)	本年値 (SPAD)	平年値 (SPAD)	平年差 (SPAD)	
11.14	小麦	さとのそら	11.24	11.20	4	88	77	11	3.2	4.4	-1.2	10.2	10.9	94	353	559	63	43.9	41.6	2.3	
	六条大麦	カシマムギ	11.24	11.22	2	73	73	0	2.7	3.8	-1.1	9.2	10.9	84	273	507	54	47.7	45.8	1.9	
	二条大麦	カシマゴール	11.24	11.22	2	71	74	-3	2.8	4.1	-1.3	10.3	13.0	79	377	561	67	41.7	37.2	4.5	
	裸麦	ミカモゴールデン	11.23	11.20	3	75	76	-1	2.8	4.2	-1.4	10.5	11.8	89	503	693	73	44.6	41.5	3.1	
	11.20	小麦	キラリモチ	11.25	11.21	4	58	57	1	3.1	4.5	-1.4	8.8	11.2	79	347	615	56	44.7	41.0	3.7
【耕種概要】			【平年値】			2020年～2024年播種の5ヵ年の平均値															
1) 圃場来歴：転換3年目（前作大豆）			2024年播種のキラリモチは出芽不良により再播種を行ったため2019～2023年播種の5ヵ年の平均値																		
2) 播種期：平年の播種期は11月11日、20日			2024年播種のキラリモチは出芽不良により再播種を行ったため2019～2023年播種の5ヵ年の平均値																		
3) 播種量：（小麦・六条）0.8kg/a、（二条）1.0kg/a																					
4) 播種様式：条間30cm、ドリル播き（シーダーテープによる）																					
5) 基肥：（小麦）N-P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> -K <sub>2</sub> O=1.0-1.0-1.0kg/a、（六条・二条）N-P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> -K <sub>2</sub> O=0.8-0.8-0.8kg/a																					
6) 苗立率：11月14日播種2025年12月2日調査、11月20日播種2025年12月12日調査																					

11/14 播種 さとのそら



11/20 播種 さとのそら



写真2 所内小麦の生育状況(左 11月14日播種、右 11月20日播種 2025年12月23日撮影)



写真3 所内大麦の生育状況(左上 カシマムギ、右上 カシマゴール、左下 ミカモゴールデン 右下 キラリモチ 全て11月14日播種 2025年12月23日撮影)

## 気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。

各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。

さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

